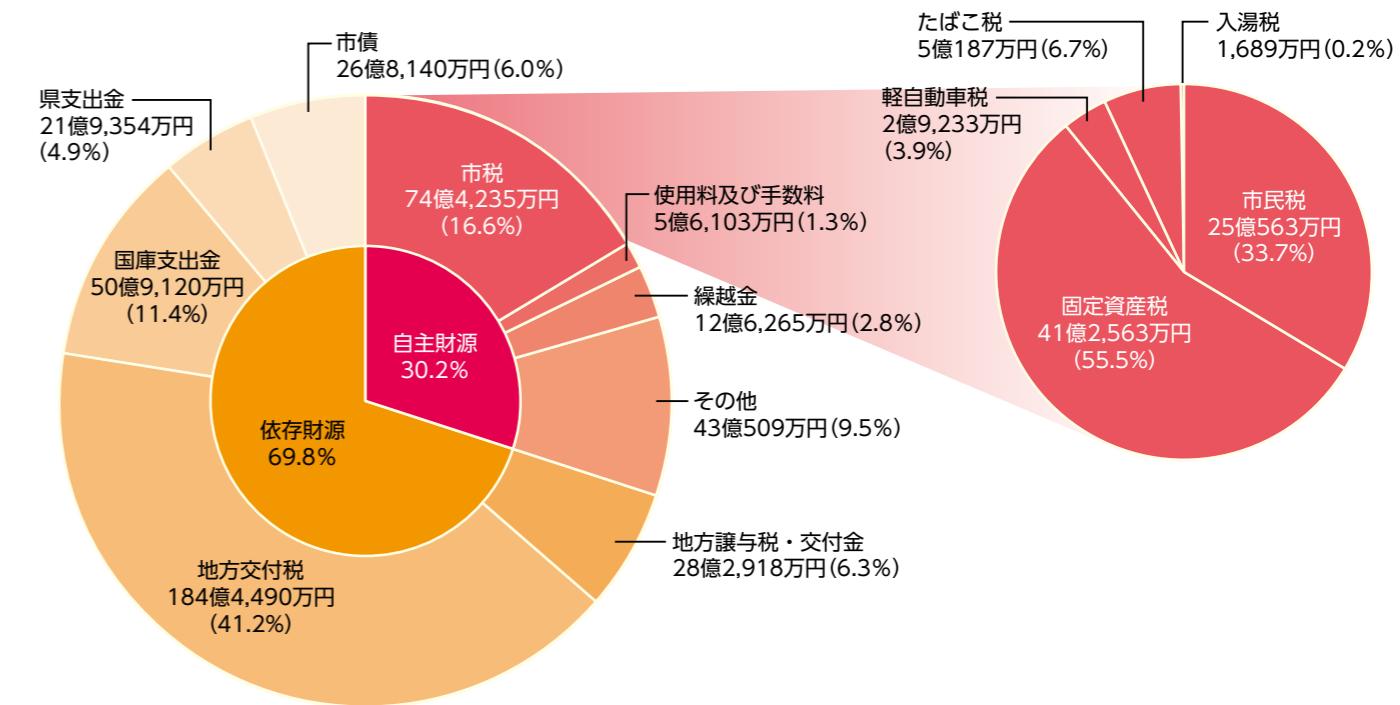
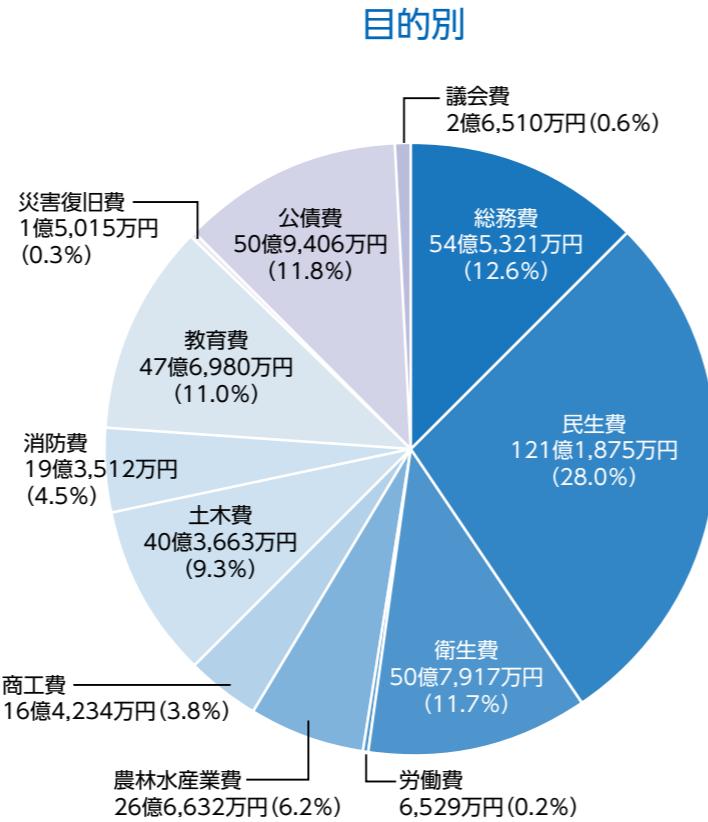
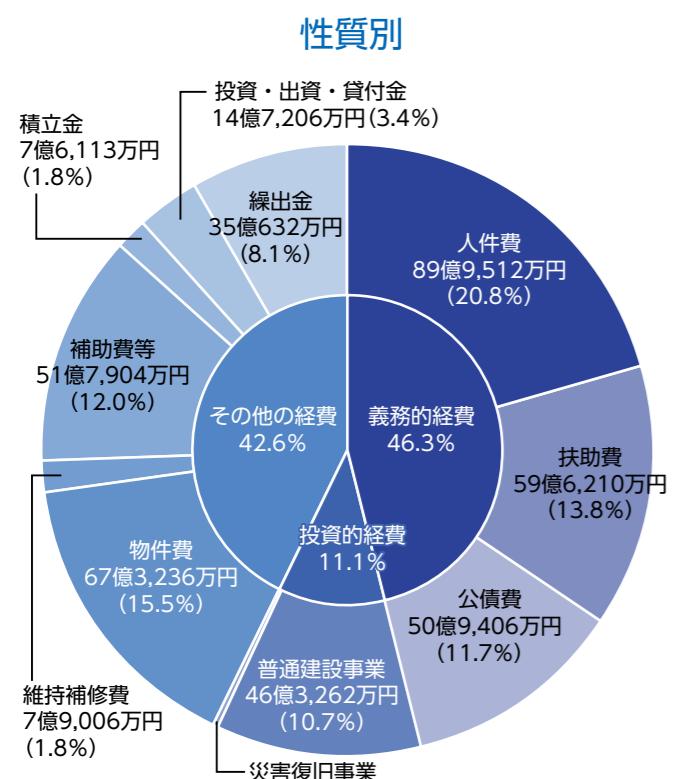




一般会計 岁出 432億7,594万円

令和6年度 決算報告

一般会計 総入出金額



● 令和6年度決算に基づく健全化判断比率

健全化判断比率は、自治体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化などを判断する指標です。市は、いずれも基準をクリアしていますが、特に物価高騰などの影響で財政調整基金をはじめとした基金残高が減少したことから、将来負担比率が29.8%（前年度比12.7ポイント増）となっています。

基準は、全国共通の財政状況を判断するための法定基準に照らし合わせたもので、市の財政運営上の問題の有無について総合的に判断し、より健全な財政運営に努めていきます。

指標名	内 容	令和6年度	基準値(令和6年度)	
			早期健全化基準 ※1	財政再生基準 ※2
実質赤字比率	一般会計の赤字額の割合	赤字なし	11.96	20.00
連結実質赤字比率	一般会計・特別会計・企業会計を合計した赤字の割合	赤字なし	16.96	30.00
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	8.0	25.00	35.00
将来負担比率	将来負担が見込まれる借金の割合	29.8	350.00	—
資金不足比率	企業会計の経営状態の悪化の割合	資金不足なし	20.00	—

*1 基準を1つでも超えると、財政健全化計画の策定、外部監査、議会への報告・公表などさまざまな財政健全化策を実施することになります。

*2 基準を1つでも超えると、財政破綻の状態と判断されます。財政再生計画の策定など国による指導、勧告、承認を受けないと財政執行できません。

● 会計別決算状況

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計		448億1,134円	432億7,594円	15億3,540円
特別会計	国民健康保険	78億2,684円	77億4,129円	8,555円
	介護保険	106億8,770円	105億9,866円	8,904円
	後期高齢者医療	10億6,194円	10億4,554円	1,640円
	診療所	2億6,898円	2億5,379円	1,519円
企業会計	水道事業	収益的収支	22億8,224円	△ 2億2,693円
		資本的収支	7億1,167円	△ 7億7,146円
	下水道事業	収益的収支	25億5,190円	6,047円
		資本的収支	18億1,910円	△ 8億5,641円
	病院事業	収益的収支	74億5,042円	△ 16億1,061円
		資本的収支	15億5,200円	△ 3億 591円

令和6年度決算報告

などに伴い、前年度より980万円少ない26億8140万円となりました。
歳出総額は、前年度に比べて2・7パーセント減の432億7594万円となりました。
目的別に見ると、衛生費が新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴うワクチン接種事業などの縮小により13億4638万円の減額、商工費が企業立地投資奨励金の対象企業の減少による減額などにより2億6285万円の減額となりました。一方で、消防費が車両運用端末装置更新事業により2億7127万円の増額、農林水産業費が有害鳥獣減容化処理施設整備事業により1億8546万円の増額となりました。

性質別に見ると、普通建設事業が志波姫公民館整備事業の完了などにより1億8005万円の減額、災害復旧事業が令和4年7月の大雨災害復旧事業の完了などにより4億4042万円の減額となりました。一方で、人件費が令和6年人事院勧告に基づく給与改定などにより、6億6478万円の増額となりました。

今後も、限りある財源を適正かつ有效地に活用した財政運営に努めていきます。